



事業概要

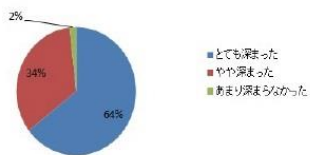
- ◇趣 旨 年末年始に様々な国と地域の青年が集い、日本の文化体験を通じて異文化理解を図る
- ◇主 催 独立行政法人国立青少年教育振興機構
- ◇実施期日 平成30年12月30日(日)～平成31年1月2日(水) 3泊4日
- ◇会 場 国立オリンピック記念青少年総合センター(〒151-0052 東京都渋谷区代々木神園町3-1)
- ◇募集人数 300人(日本に住んでいる留学生や日本人学生等)
- ◇参加費 5000円(食費 朝食3回、昼食1回、夕食3回)

当日の日程について

- ◇1日目
 - ・受付
 - ・オープニングセレモニー
 - ・レクリエーション
 - ・グループ活動
- ◇2日目
 - ・和紙・ハンコ作り
 - ・ゆるくる運動会
 - ・紅白歌合戦鑑賞
 - ・年越し・交流タイム
 - ・カウントダウンパーティー
 - ・ニューイヤーパーティー
- ◇3日目
 - ・東京のお正月散策
 - ・グループ活動
- ◇4日目
 - ・人文字撮影
 - ・フォトトーク
 - ・クロージングセレモニー

アンケート結果

異文化交流を深めることができましたか？



参加者の声：○様々な文化の違いを知ることができた。
○日本人でも知らない文化体験ができた。



Day1

12月30日(日)



全国から集まってきた「とも」に4日間を過ごす仲間たち。どんなゆくくるになるのかドキドキの一日目。

Day3

1月1日(火)



2019年を「とも」に迎えた、最高の仲間たちと過ごす3日目。隣を見れば、残り少ない時間を惜しみながらも楽しむ仲間。



平成最後の年越しを、出会った人たちと迎える瞬間。国や地域を超え、たくさんの奇跡が集まった仲間と、年を迎える。

Day2

12月31日(月)



ドキドキから始まった、平成最後のゆくくるも終わりを迎える。「とも」に過ごした仲間との時間はこれからも、心の中にある。それぞれの道に戻っても、ずっと繋がりが「とも」に進んでいく。

Day4

1月2日(水)



仲間たちの声

企画運営委員長

井石 伸洋 (いし のぶひろ)

今回の「ゆくくる年(以下、ゆくくる)」のコンセプトは、『わたしとあなたと「とも」に』です。これには、参加者が様々な方法で「とも」を表現してほしいという企画運営委員長の想いが込められています。

また今回のゆくくるでは、企画運営委員長の新しいことに挑戦するという思いから、運動会や和紙・ハンコ作り、ニューイヤーパーティーでの書初めなど、例年とは異なるプログラムを実施しました。参加者の皆さんの笑顔や活動を楽しむ様子を見ることができ、企画運営委員長として嬉しく思うとともに、これまでゆくくるに3年間携わることができて良かったと感じました。

ゆくくるを開催するにあたり、世界中の国と地域から集まった参加者の皆さま、参加者とともにグループでの活動を補助していただいたグループリーダーの皆さま、そして準備から事業当日まで支援いただいた関係者の皆さまに、心より感謝いたします。

皆さまの「とも」にこれからも続きますように。



グループリーダー

星野 雄哉 (ほしの ゆうや)

グループリーダーとして様々な国からの参加者をまとめる責任感と楽しさは、私を成長させる良い機会となり、大きな財産になったことは間違いありません。

何気ない会話、東京散歩で何気なく歩く街中、私たちにとっては当たり前で何の疑問も持たない光景でも、他国の目線で見れば日本独特のものであったり、違うカタチで存在するものや文化が多くあることに気づかされました。「私たちの国では…」そんな会話を期間中何度かか致し切れません。相手が何を食べて、どんな文化や環境で育ってきたのかを理解し合うことは、国際化が進む社会をともに生きていくために必要とされるものだと思えて考えさせられました。

日本文化を体験しながら他国の文化を知るができる、それに加えて自分のスキルアップにも繋がる機会、日常ではそうあることではないでしょう。それに何よりも、ゆくくるは楽しかったと素直に思っています。楽しさはすべての原動力です。



グループリーダー

藤野 香奈 (ふじの かな)

私はこの事業に関わる中で、出会いと繋がりを意識して活動をしました。初めてのリーダーになることへの不安と緊張がかけ消されるくらいに沢山の方々と出会い、ゆくくるがスタートしました。

参加者が和紙作りや運動会など日本の文化体験を通して、グループ内の仲を深める様子もとても印象に残っています。しかし、私の中で最も印象に残っているのは、グループ活動や食事の時間です。

それぞれ違うところから来ていて、年齢も違うのに、一緒に班の目標やルールを決めたり、それぞれの国や地域のことを楽しく話したことは、共に過ごす最高の時間だったと思います。4日前に初めて出会い、一緒に過ごしたグループの参加者がまたみんなで集まろうと話しているのを聞いてやりがいを感じました。

人と人が出会うのは当たり前のことかもしれませんが、時にはその出会いが強い繋がりを生むということも学びました。グループリーダーとして参加者同士が「とも」に最高のゆくくるを作り上げるための架け橋になれたと思います。多くの人に感謝したいです。



参加者

Lee Eu Cong (リーユー チョン)

日本で過ごす年越しをどう過ごすか迷っていた時、ゆくくるの存在を知りました。色々な場所から来た留学生や日本人と過ごすことはとても思い出に残りました。

ゆくくるが始まった1日目の夜、色々なグループと話す機会がありました。また、グループだけではなく、多くの人と話すことができ、仲間が増えました。年越しタイムも、色々な体験が多く楽しむことができました。この4日間は自分たちのグループはもちろん、他のグループとのかわりも多く、留学生や日本人とも、全国に友達ができたことは、勇気を出してゆくくるに参加して良かったと心から思いました。

いつも参加している異文化交流とは違い、全国から集まっている人々が日本の文化を体験し過ごす4日間は最高でした。